

# 法人本部 平成28年度新入職員紹介

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【いたる賛助会】より

平成28年4月、社会福祉法  
人いたるセンターでは、  
新入職員13名を採用いたしま  
した。

代々木・オリンピックセン  
ターでの宿泊研修を中心に、  
4月1日より2週間にわたる  
集中新卒研修を行い、その後  
は2ヶ月間、2つの仮配属先  
で各事業部の仕事を体験。さ  
まざまな支援や介助を学びま  
した。

4月4日の入社式では、当  
法人の理念を新入職員全員で  
暗唱し、役員を驚かせてくれ  
ました。

6月15日、正式な配属先が  
決定され、辞令交付を行いま  
した。いたるセンターの未来  
を担う新たな仲間たちに、温  
かいご支援をよろしくお願ひ  
いたします。

6月15日、正式な配属先が  
決定され、辞令交付を行いま  
した。いたるセンターの未来  
を担う新たな仲間たちに、温  
かいご支援をよろしくお願ひ  
いたします。



(前列・左より) 川名智士(イタール成城)、岡田悠花(イタール成城)、内田佳織(地域ケアセンター)、内田恵梨子(あけぼの作業所)、石塚一(目黒本町福祉工房)、朝倉樹(イタール成城)、青柳有美(目黒本町福祉工房)

(後列・左より) 山添有平(あけぼの作業所)、白龍超(地域ケアセンター)、高嶋友佳梨(阿佐谷福祉工房)、関口佳子(目黒本町福祉工房)、山藤志織(阿佐谷福祉工房)、佐々木潤子(目黒本町福祉工房)

## 平成27年度決算報告

### 1. 法人単位の資金収支の状況

項目	金額(千円)
(1)事業活動資金収支差額	26,388
①事業活動収入	1,386,405
・介護報酬等の公費(※)	1,368,404
・利用者負担金(※)	0
・その他収入	18,001
②事業活動支出	1,360,017
・人件費支出	866,612
・事業費支出	81,125
・利用者負担軽減額	0
・その他支出	415,280
(2)施設整備等資金収支差額	7,311
①施設整備等収入	263,796
・施設整備補助金等の公費	62,919
・その他収入	200,877
②施設整備等支出	256,484
(3)その他の活動資金収支差額	50,688
①その他の活動収入	81,414
②その他の活動支出	30,726
当期末資金収支差額	84,388
前期末支払資金残高	100,946
当期末支払資金残高	185,334

(※)医療事業収入分を除く。(社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。)

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあります。

### 2. 法人単位の事業活動の状況

項目	金額(千円)
(1)サービス活動増減差額	7,666
①サービス活動収益	1,374,944
②サービス活動費用	1,367,278
減価償却費	58,168
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 38,199
その他サービス活動費用	1,347,308
(2)サービス活動外増減差額	▲ 109
①サービス活動外収益	11,461
②サービス活動外費用	11,571
(3)特別増減差額	▲ 7,323
①特別収益	62,918
②特別費用	70,242
当期活動増減差額	232
前期繰越活動増減差額	610,223
当期末繰越活動増減差額	610,455
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	595,455

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあります。

### 3. 法人単位の資産等の状況

項目	金額(千円)
(1)資産の部	2,034,269
①流動資産	395,830
②固定資産	1,638,439
(2)負債の部	621,254
①流動負債	260,984
②固定負債	360,270
(3)純資産の部	1,413,015
減価償却累計額	0

(※)端数処理の関係で合計が一致しないこともあります。

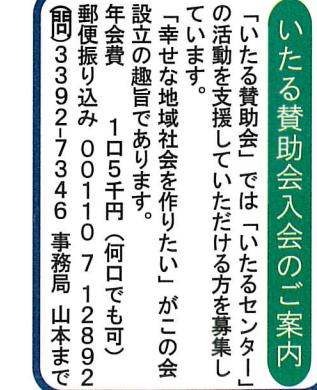


いたる成城・生活介護のご利用者様と支援員が、近隣の農地をお借りしてスタートした農作業



## 平成27年度事業報告および 平成28年度事業計画について

社会福祉法人いたるセンター  
理事長 谷山 哲浩



平成27年度、社会福祉法人いたるセンターは障害者総合支援法が施行され2年目に入り、「いたる総新」を掲げて3年目を迎えました。

地域には課題が多くあり、地域福祉のニーズが多様化している現状を鑑み、障害者はもとより、福祉に留まらず課題解決に向けた取り組みへ挑戦をしました。

これまで横の繋がりとして地域福祉、保育、医療、教育へとチャレンジし、縦の関係は「揺りかごから墓場まで」を標榜し一生涯に亘つての支援体制の構築を進めています。

これまで横の繋がりとして地域福祉、保育、医療、教育へとチャレンジし、縦の関係は「揺りかごから墓場まで」を標榜し一生涯に亘つての支援体制の構築を進めています。

4月に世田谷区いたる成城を「重度障害者対応の生活介護、ショートステイとグループホーム」として開所し、翌年1月はいたる上荻に「グループホーム」を開所しました。いたる成城は、医療的ケアを伴うサービスのため、職員が多く必要となり人件費過大で苦しい運営と経営が今まで振り返ると医療的ケアの挑戦は時期尚早であったと反省しています。結果、法人の平成27年度の決算が厳しい結果になつた責任を痛感しています。

次に「サービス残業の問題」でガバナンスとコンプライアンスが問われました。

就業規則はあるが、その体制が問題で、抜本策による改善努力が必要です。遵守が徹底されず、自己判断による居残り残業等の問題も浮かび上がりました。

【いたる賛助会】より  
ご寄付をいただきました。

いたる賛助会は、いたるセ  
ンターの行う福祉活動を  
支援するとともに、地域に密  
着した活動を中心据え、地  
域に生活する障害者(児)の  
福祉の向上を目的として、平  
成11年に発足しました。

このたび、平成28年4月、  
いたる賛助会・木村尚文会長  
より、「いたる上荻・グル  
ープホーム」「新ワルツ」施設  
整備資金及び職員研修事業費  
として、100万円をご寄付  
いただきました。

いたる賛助会は、いたるセ  
ンターの行う福祉活動を  
支援するとともに、地域に密  
着した活動を中心据え、地  
域に生活する障害者(児)の  
福祉の向上を目的として、平  
成11年に発足しました。

このたび、平成28年4月、  
いたる賛助会・木村尚文会長  
より、「いたる上荻・グル  
ープホーム」「新ワルツ」施設  
整備資金及び職員研修事業費  
として、100万円をご寄付  
いただきました。

